

名護市辺野古沖の埋め立てに本島南部の戦没者の遺骨が含まれる土砂が使用される恐れがあることに反対の意思を示す為、今年は糸満市と八重瀬町の2コースを行進し、平和記念公園内での「平和と暮らしを守る県民大会」が開かれる予定でしたが、去年に続き今年も新型コロナウイルスの影響により、5・15平和行進は中止となりました。

しかし15日、今年は感染対策の徹底、規模を縮小し加盟団体代表約30名ほどで北中城の米軍キャンプ瑞慶覧ゲート前でのアピール行動に参加しました。集会では米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還、辺野古新基地建設の撤回、先島への自衛隊ミサイル部隊配備撤回などを訴えました。

今年も行進はできませんでしたが、各地方青年部からの熱い応援メッセージありがとうございました。何も変わらない現状を強く訴え続けられるのは全国に仲間がいてくれるからです。コロナ過が収束し、また再会できることを心待ちにしています。

沖縄青年部部長 新里 良平

# 進 行

2021年

# 平和



